



↑車名にRのマークが追加されているのがコンプリート車の証。マフラー以外にもRC甲子園のチューニングが施されている。

取材協力 YSP大阪箕面



14全国YSP店舗で発売

↑XMAX Rはコンプリートのみでの販売となる。北から仙台、八王子、八王子福生東店、成増、川崎中央、横浜南、名古屋西、豊橋南、滋賀、大阪箕面、大阪東、大阪箕面甲子園店、神戸中央、香川のYSP14店舗で取り扱っている。



[RC甲子園]

XMAX R

●税込価格:80万4600円
 ◎YSP大阪箕面/甲子園店
 ☎072-726-5310/☎0798-22-1102
<http://www.yosposakaminoo.com/>

独自のカスタムを施したR及びMシリーズをコンプリート製作する名門レースチームのRC甲子園がこの7月にXMAX Rを完成させた。その実力は!?

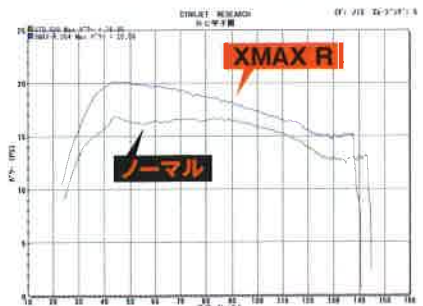
XMAXでもTMAX Mと同じ爽快な走りを実現!



↑STDの64万2600円に対し、80万4600円となるXMAX R。その差は16万2000円だ。取材車はRC甲子園製のフェンダーレスキット(別売、価格:1万5120円)も装着。MAX系には走りのカスタムが似合う。

RC甲子園のコンプリートマシン(「RCコンプリート」)には、6月号でTMAX 530DX/SXM(「モディファイ」)を試乗しているが、今度は2500のXMAX Rがリリースされた。前回のMと異なるのは、オリジナルのマフラーが装着されている所で、12年のTMAX 530Rと同様のパッケージを実現した。TMAXのRやMと同様、駆動系なども含めたトータルでのチューニングが施されており、XMAX Rは発進から100km/hまでの加速を重視して開発された。乗った印象は、これまでのシリーズと変わらず、爽快そのもので、加速感が気持ち良く走りがより楽しくなる仕上がりがだ。STDとの違いも分かりやすく5000~7500rpmのパワーは、まるで3000cc版と例えられるような1クラス上の印象。スポーツバイクと同等のシャーシを採用しているXMAXの潜在能力をより発揮

○ 常用域の加速力は明らかにSTD以上



↑縦軸が出力で横軸が速度のパワーグラフ。ピークは40~50km/h時でそこから100km/hあたりまでRが大きく上回っている。



↑XMAX Rに標準装備されるRC甲子園製XMAX250HITMANマフラー。規制をクリアした政府認証品(写真右上)で単体での価格は、12万7440円だ。

こんな人におすすめ

結論

XMAXとRはYZF-R25とR3の関係に近い

XMAXとXMAX Rには、以前乗り比べたYZF-R25とR3に近い明確な差を感じた。一方、XMAX Rは250ccのままなので車検は不要。耐久性についてはSTDと同等レベルを確保しているとのことなのでそれも安心だ。

✕ STD+約16万円(税込)の価格は高いか安いかわからない。マフラーが税込約12.7万円なのでそれ以外は約3.5万円。RC甲子園の手による駆動系を含むチューニング費用としては割安だろう。

させるならRがベストだろう。装備されるHITMANマフラーは小気味良い排気音で音量もちょうどいいレベル。パワーアップだけでなくタンクカバーボンキャップで3kg以上の軽量化を達成しているのも爽快さに貢献している部分だ。

旬のアイテムを触ってテスト!

まとめ:市本行平(本誌編集長) ●写真:箱崎太輔